

自然エネルギーの無限の可能性を感じた

国政候補・地方議員ら 45 人が 4 ヶ所をウオッチ

党国会議員団近畿ブロック事務所が呼びかけた「自然エネルギーウオッチング」が 2 日行われ、清水ただし、堀内照文両衆院比例候補、近畿 2 府 4 県の国政候補と地方議員ら 45 人が参加しました。吉井英勝衆院議員の話聞いた後、大阪府内 4 ヶ所の施設をバスで回りました。

ウオッチングは、「原発ゼロ」をめざす上で自然エネルギーの可能性を実感することが大切と取り組んだもの。吉井議員は、エネルギーの大きさとともに活用は地域特性に合わせて考えることの重要性を強調しました。

ツアーではポッポおひさま発電所(太陽光パネル)のある東大阪市の保育園、堺市のゴミ発電施設、同市の小水力発電所、大阪市役所の太陽光パネルをウオッチしました。保育園では「自然エネルギー市民の会」がつくられ、NPO 法人が発電所を運営しています。保護者や職員が自然エネルギーについての学習を重ねたことが報告されました。参加者からは「単なるソーラーシステムの設置と思っていたが、こういう運動があったのか。認識を新たにしたい」などの声が上がりました。

堺市・桃山台配水所の小水力発電所は、水道水を受ける圧力を利用した発電装置。それまで捨てていたエネルギーを使うことで環境負荷の低減や電気代の節約になりました。「灯台下暗し。こんな施設があるとは知らなかった」の感想もありました。大阪市では清水候補が市議時代につけさせた太陽光パネルの説明を受けました。近畿ブロック事務所では、府県ごとにウオッチングをするよう呼びかけています。

参加者の感想

- ・自然エネルギーが身近なところで活用されていることがよく分かりました。吉井衆院議員の講演で、自然エネルギーの活用の可能性と地域活性化が結びつくことも理解できました。「集い」にも生かしていきます。
- ・1 日、時間をかけて現場を見て「百聞は一見にしかず」でした。
- ・原発をなくしていく上で、その代わりになるエネルギーをどうやって地域で普及していくかを考える、いい機会になりました。自分の住んでいる地域でできることは何かなどを調べ、行動しないといけないと思いました。
- ・国政問題で候補者が学べる現場を一緒に回るのはいい企画だと思いました。

近畿・福井合同で政府、関電・原電交渉を行います

近畿ブロック事務所と近畿 6 府県、福井県委員会は原発問題で政府、関電・日本原電交渉を行います。

■政府交渉 17 日(火) 経産省、環境省、文科省、内閣府

再稼働撤回、原発ゼロ、危険な原発の廃炉、活断層調査、再生可能エネルギーの普及、「計画停電」、原子力防災、食の安全、がれき処理など 36 項目要求

■関電本店交渉(大阪市北区) 23 日(月)AM11:00~

■日本原電交渉(福井県敦賀市) 23 日(月)PM2:30~(予定)

原発ゼロへ 近畿ブロック交流会議 笠井亮衆院議員が参加し、9 日(月)に開きます



ポッポおひさま発電所のある保育園で説明を受ける参加者